

(様式3)

事業所名 グループホームてらの桜園

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 6月 2日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	○急変や事故発生時の備え ・日常的に起こり得る事故への初期対応等のマニュアル整備が途中で止まっている。 ・実践に沿って対応できる適切なマニュアル整備が必要。	突発的に、急変や事故は起こるものと認識し、その初期対応をすぐ動けるようなマニュアル作成をする。	現在、事故発生時マニュアル(緊急時)を使用し、初期対応を追加する。	2ヶ月
2	23・24	○思いや意向の把握 ・思いや意向は日々変化するものである。知り得た情報を介護計画に反映できるような書式の活用が必要。 ○これまでの暮らしの把握 ・それぞれの利用者が長年培ってきた暮らしを、これからも反映できるようなシートの活用が必要。	思いや意向の反映した介護計画書の作成。長年の暮らしを反映したシートを活用、作成する。	センター方式シートの活用。ご家族様への聞き取りを行う。ご入所様のカンファレンスへの参加と、ご本人様の意向を汲み取っていく。	2ヶ月
3	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ・具体例を用いて丁寧に説明しているが、事業所と家族とが将来の方向性や目安の共有を図る為にも、事業所としての指針を書面で整備することが必要。	重度化の目安を明確に文書で示す。	現在行っている説明を書面に残し、ご家族との目安の共有を行う。	2ヶ月
4	19	○本人をともに支えあう家族との関係 ・コロナ禍において本人の生活状況が伝わりにくい状況にある。 ・家族へこまめに生活状況を伝えられるよう工夫し、本人をともに支え合う為の協力体制が充実するような取り組みが必要。	家族へ日常生活の様子を伝えられるよう工夫する。	次回の広報で最後となる。職員とご利用者の日常の様子が伺えるように工夫する。	2ヶ月
5	6	○身体拘束をしないケアの実践 ・外部の研修は書面だけでなく、事業所の実践に沿った形で確認することが望ましい。 ・具体的な振り返りができ、新たな気付きを得ることが出来るよう、学びを実践に活かせる取り組みが必要。	事業所の実践に沿った研修を行い、振り返りをして気づきを得る工夫する。	今後は、母体の特養での研修となりますが、実践的な研修を行ってもらえるよう、各委員会での発信を行う。	2ヶ月